

NPO法人石狩市文化協会が4回にわたって「俳句実践教室」を主催。最終日の8/24(水)には、はまなすの丘公園や弁天歴史通りなどを吟行し、句会も実施すると聞き、編集部も同行させていただきました！

はまなすの丘公園で――



▼吟行のお供に「歳時記」とは俳諧で季語を分類して、解説や例句をつけた書です



吟行で季節を感じに 出掛けよう

吟行とは、俳句や和歌などの題材を求めて風光明媚な場所や名所旧跡を訪ねること。今回、「俳句実践教室」がその吟行の地に選んだのは「はまなすの丘公園」と「弁天歴史公園」でした。

辺りを見渡せば秋の季語もちらほらとあつて、例えばこんなふう――

薄(すすき) 蜻蛉(とんぼ)
玫瑰(はまなす)の実

季節の移ろいを感じながら、時に立ち止まつては小さなノートや句帖に書き込む参加者たち。それはまさに、吟行の風景でした。



運上屋棟で――



弁天歴史公園で――



石狩灯台を間近に――



楽山居で――



吟行から生まれた俳句

経験者に交じり、初心者の方も多数参加した今回の教室。ここではその吟行から生まれた俳句をいくつかご紹介しましょう。

――はまなすの丘公園にて――

石狩の砂丘も秋や「無幸の像」
中矢 真弓
木道の隙間にありしきりぎりす
白石 美恵子
はまなすや灯台見上げ咲き誇る
佐藤 ひとみ

――弁天歴史公園にて――

白砂に踏み石のあり涼新た
畑中 貴子
白雲の流れし砂丘実はまなす
曳地 理子
秋草や旧きホテルの佇まい
笹谷 雅子

誰でもすぐに楽しめるのが 俳句の魅力です

俳句は「五七五や季語など決まり事があつて難しい」という方がいるかもしれませんが、けれども、実際は日本語が話せれば、上手い下手は別にして、誰にでもすぐ作ることができるのが俳句です。経験者もそうでない方も、すぐに一緒に俳句作りが楽しめるという点にこそ、私は俳句の魅力があると思っています。

その醍醐味を味わえるのが句会です。「俳句が上手くなりたい」と思うなら、句会に参加することをおすすめします。

今回、私が講師を務めた「俳句実践教室」でも、教科書的なことをあれこれお話しするより、実際に俳句を作ってもらうことを重視し、2回目にして句会を開きました。そこでは講師だけではなく、列席の仲間や先輩たちが「これはすごくいいね」「この句のここはこうした方がいいかも」などと意見を活発に交わしました。こうした意見を聞くことこそが何より勉強になるのです。

句会で俳句作りの楽しさ面白さ、上達への手掛かりを見つけてみませんか。



北海道俳句協会常任委員・『樞』代表
横山いさを先生

俳句を楽しもう



選句も楽しみのひとつ



まずは投句します



披講では選ばれた句を中心に意見の交換も

俳句がもっと好きになる楽しい句会

吟行から帰ってきた二行は、さっそく学び交流センターで句会を始めました。

句会には、仲間の俳句を読む楽しさと、選ぶ楽しみ選ばれる楽しみがあるといわれます。そのやり方はいろいろありますが、今回は次のような流れで行われました。

(一) 投句

3枚の投句用紙(短冊)に二枚一句を無記名で書き、幹事へ提出。

(二) 清記

幹事は二句ずつ番号を振り、投句用紙を清記用紙(句稿)に貼りつけたら、人数分をコピーし参加者に配布。

(三) 選句

参加者は清記用紙(句稿)から自分が良いと思う句を選句。

(四) 披講

一人ずつ順に自分が選んだ句を読み上げます。最後に指導者が選句された句について、それぞれ作者は誰かを問い、併せて講評を行いました。



花かんぞうあの日も海を見ておりし
石川美智子

▲この日の句会で参加者から特選に選ばれたのが石川美智子さんの句でした。

いまだに動詞や助詞の使い方や季重なり(一句の中に季語が2つ以上入ること)をしますが、やればやるほど奥が深いのが俳句だと思います。

「俳句実践講座」参加者の声

俳句の「は」の字も知らず参加しましたが、句会や吟行というものがどういものかを知ることができ、とても楽しかったです。

自分にはできない、ついていけないかとも思いながら参加しましたが、無事、最終回を迎えることができました。何年も経験のある方の俳句も拝見できて大変勉強になりました。

●石の花俳句会

平成2年設立。毎月の句会のほか年に1、2回の吟行句会、講師を招いての研修会、広報いしかりへの投句など日々楽しみながら研鑽を重ねています。



代表 赤繁 忠弘さん

【句会スケジュール】

日程 毎月第2土曜
場所 学び交流センター(花川北3・3)
問合せ 赤繁さん
☎090・2057・9304

●石狩憩吟社

昭和57年設立。老人クラブの有志が「憩吟会」を立ち上げ、その後今の名称に変更。句会は喫茶店などで行い、気取らず楽しくが活動のモットーです。



代表 五十嵐 満行さん

【句会スケジュール】

日程 毎月1回
問合せ 五十嵐さん
☎73・1648

●石狩文芸同好会

昭和50年設立。月例会では顧問の先生の指導の下、俳句と短歌の合評会を行い、年2、3回は近郊の地を訪れ吟行会も行っています。



代表 樋口 博さん

【月例会スケジュール】

日程 毎月第4日曜
場所 りんくる(花川北6・1)
問合せ 樋口さん
☎73・5953

石狩で句会を開いているところ

NPO法人石狩市文化協会に加盟する次の3つの団体では定期的に句会(月例会)を開いています。ぜひ皆さんも参加してみませんか? 見学するだけでも勉強になること間違いなし!